

# 小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>国語科</p>	<p>委員長名 吉 崎 健 一</p>
<p>調査研究の経過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月6日(木)に、オンライン会議(Zoom)にて開催し、国語・書写小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月7日(金)から7月11日(木)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月11日(木)に、稚内総合文化センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、光村図書(光村)、東京書籍(東書)、三省堂、教育出版(教出)の4者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
<p>調査研究に当たった際の配慮事項</p>	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
<p>少数意見その他</p>	<p></p>	

様式 2

教科名		国語				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	光村図書	国語 1 2 3	38	東京書籍	新しい国語 1 2 3	2
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○取扱内容については、【知識及び技能】では、読む・書くという活動を繰り返す構成が展開され、「生きて働く知識及び技能」が定着するような工夫が、情報の扱い方に関する事項を中心に成されている。【思考力、判断力、表現力等】では、教材を比較して評価したり、討論を通して批判したりする活動が用意されており、論理的思考力の養成に力を入れている。【学びに向かう力、人間性等】では、単元の最後に設けられた「振り返り」で、3観点の自己評価ができるように項目が3つ設置されており、学んだことを振り返った上で次に生かせるような工夫が成されている。</p> <p>○内容の構成・排列については、本編と資料編に加え、QRコンテンツも展開されているため、学習者のレベルに応じた個別最適な学びがしやすい構成が採られている。</p>			<p>○取扱内容については、【知識及び技能】では、古典の学習の最初に、具体例として物語「浦島太郎」が、時代の変化と共に内容が変化していることを紹介し、興味関心をもちやすい工夫が、伝統的な言語文化の項目で成されている。【思考力、判断力、表現力等】では、日常生活や社会生活を題材にした言語活動が用意されていたり、単元ごとに用意されている「言葉の力」をヒントに自分の考えを言語化できたりと、言語活動の養成に力を入れている。【学びに向かう力、人間性等】では、QRコンテンツをはじめ、完成例や取り組み方の例を丁寧に用意することで、生徒が困り感を抱かないような工夫が成されている。</p> <p>○内容の構成・排列については、本編と資料編に加え、QRコンテンツも展開されているため、学習者のレベルに応じた個別最適な学びがしやすい構成が採られている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○QRコンテンツが多数用意されており、学習者自身が書き込み、自己採点が可能な教材もあるため、必要に応じて活用することができる。</p> <p>○サイズの異なる「語彙ブック」が教科書内にあるため、創作活動や言語活動等において用いることができる。</p> <p>○「SDGs」をテーマとして掲げ、社会への興味関心を抱かせ、これからの未来を考えるきっかけとなる教材が用意されている。</p> <p>○目次では、各単元で、どの学びに力を入れるのかが一目で分かるようになっている。</p> <p>○色覚特性に配慮し、色に頼ることのないように作られている。</p>			<p>○家庭学習で扱えるQRコンテンツが多数用意されており、学習者自身が巻末にあるデジタルコンテンツ一覧（家庭学習マーク）を見ることで、必要に応じて活用することができる。</p> <p>○「未来を考えるための9つのテーマ」を掲げ、教材が用意されているため、各単元で学んだことが、未来考えることに繋がるようになっている。</p> <p>○目次では、各単元で、どの学びに力を入れるのかが一目で分かるようになっている。</p> <p>○色覚特性に配慮し、色に頼ることのないように作られている。</p>		
その他	<p>○三年間の学びが繋がっていることを、教科書の表紙を縦に繋げることで一つの作品になるということで表現しており、国語の学習に親しみをもてるような工夫が成されている。</p>			<p>○表紙に青春のワンシーンを描くことで、学年のはじめに大きな期待を抱きやすい作りになっており、国語の学習に親しみをもてるような工夫が成されている。</p> <p>○教科書に登場する4人のキャラクターにおいて、多様性の時代を反映させた描き方が成されている。</p>		

様式 2

教科名		国語				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		三省堂	現代の国語123	15	教育出版	伝え合う言葉 中学国語123
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○取り扱い内容については、全学年を通して考える力を養うことを中心に、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるものとなっている。</p> <p>○内容の構成・排列については、〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」それぞれの指導事項に挙げられている学習過程を生徒が達成できるような構成となっている。とくに巻頭の「思考の方法」では、「①順序立てる」「②比較する」「③分類する」「④関連づける」「⑤多角的に見る」「⑥理由づける」「⑦具体化する」「⑧抽象化する」「⑨仮定する」という9種類の思考の方法を提示し、チャートを用いながら情報を可視化し、各領域での課題を解決していくプロセスを示している。また、各題材（単元）に「思考の方法」の活用例を示し、生徒の問い返しや作品との対話を促すことで、生徒自身の「考える力」を養い、主体的・対話的で深い学びを実現する工夫がなされている。</p>			<p>○取り扱い内容については、全学年を通じて総合（SDGs）に関する内容を取り上げたり、各教材とSDGsとの関わりを示したりしながら、持続可能な未来を創造するという視点で、生徒が自ら日常や社会を見直し、自らの考えを形成することができるようにしている。</p> <p>○内容の構成・排列については、「学びが見える」「学びが深まる」「学びがつながる」という三つの学びを目指した構成を特色としている。「目標」「学びナビ」「学習活動」「振り返り」の学習サイクルが〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」それぞれの領域で示されており、身につけるべき〔知識及び技能〕と各領域での学習過程との結びつきを生徒が自ら理解し、振り返ることを通して、国語で理解し表現する言語能力の育成を実現する工夫がなされている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○生徒の活用力の育成を目指し、設定された「読み方を学ぼう」では、「何をどのように読めば力がつくのか」という読みの方略を図解で示すことで、単元や題材において身につけるべき力や思考の仕方をイメージしやすい工夫がなされている。また、QRコードを読み取ることで見られる「読み方」解説動画や「読書の広場」にある他の文学作品のページをページ下に掲載することで、生徒が主体的に補充的な学習や発展的な学習を行い、主体的に課題解決に向かえるようにしている。</p> <p>○「学習用語辞典」として、学習に必要な用語をまとめたページを付録として設けるなど、生徒が自らの学習を振り返ったり、言葉の力を高めたりするための資料が用意されている。</p>			<p>○生徒が学びへの見通しと期待感をもてることをねらいとし、設定された「学びナビ」では、各題材において身につけるべき知識及び技能、思考の方法等が焦点化されており、生徒自身で学習過程を明確にし、主体的に課題解決に向かえるようにしている。また、「読むこと」に関する「学びナビ」では、小学校時代に学習した題材や童話等を例として積極的に取り入れるなど、生徒が学習意欲を高められるような工夫がなされている。</p> <p>○「言葉の自習室」として、学習に必要な用語の索引ページや文章を読むための手がかりをまとめたページを付録として設けるなど、生徒が自ら学習を振り返ったり、知識を豊かにしたりするための資料が用意されている。</p>		
その他	<p>○デジタル教科書の整備状況については、学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応については、専門家の指導と校閲のもと、挿絵や図版の配置や配色などに工夫するなど、誰もが使いやすい教科書となるように配慮されている。</p>			<p>○デジタル教科書の整備状況については、学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン等への対応については、色調のバランスだけではなく、形のうえでも区別しやすいような工夫など、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいデザインとなっている。</p>		

教科名	書写					
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	三省堂	現代の書写 一・二・三	15	光村図書	中学書写 一・二・三	38
取扱内容	<p>①全体構成の工夫 指導事項内容をバランスよく適切に配分している。「本編」「資料編」の二部構成となっており、冒頭部では小学校までの既習事項を、本編では必修の学習内容を取り扱っている。主体的に学べるよう、「教材名」「目標」「振り返り」に学習のねらいを明示している。</p> <p>②排列・分量 学習指導要領の五つの指導事項に対してそれぞれ教材を排列し、発達段階に即して、無理なく系統的に学習することができる。毛筆教材のあとには「書いて身につけよう」各学年末には「やってみよう」があり、学習した内容を他教材や他教科・社会生活で活用できるようになっている。</p>			<p>①学習指導要領への対応 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用ができ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がされている。また、文字文化へ理解を深める工夫やコンピュータなどの情報機器の活用がされている。目標の確認から振り返りまで学習の流れが一目でわかる構成となっている。</p> <p>②分量・排列 全学年で求められる学習要素を効率よく身に付けられるよう、単元・教材を精選し、系統的・段階的に配列している。</p>		
使用上の配慮等	<p>①特別支援教育についての配慮・工夫②カラーユニバーサルデザインについての配慮・工夫③生徒が意欲を持って学習を進められるよう、わかりやすい用語・表現を用いている④書体・文字の大きさ・字間・行間など読みやすさ、学びやすさを追究した独自の明朝体・ゴシック体を使用 など</p>			<p>①体裁に関する配慮 主たる学習要素は大きく、付随する要素は小さく簡潔。学習のポイントを示す「学びのカギ」やキャラクターなど、生徒の主体的学習の助けとなるよう配慮している。②特別支援教育に関する配慮 全ての生徒が学習に集中できるように、大切なことがひと目でわかる、すっきりとした紙面構成やユニバーサルデザイン書体の採用</p>		
その他	<p>①自学自習への対応 ②教育のICT化への対応 二次元コード</p>					

教科名	書写					
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	東京書籍	新しい書写 一・二・三年	2	教育出版	中学書写	17
取扱内容・内容の構成・配列	<p>①言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する「知識・技能」の習得、正しく整えて書くための「思考力・判断力・表現力等」の構成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現するよう編集</p> <p>②教材の分量、配分については教材に系統性を持たせて排列し、螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるようになっている。毛筆と硬筆との配分を考慮</p>			<p>①学習指導要領で求められている指導事項を確実に習得、活用できる教科書として編集。②教材の今日性と普遍性に配慮。</p> <p>②教材の範囲分量は、国語科書写の指導事項を過不足なく学習できるように工夫。また、各学年の生徒にとって理解しやすく、書きやすい。学習月同や日常生活に生きてはたらく書写力の育成を行うことでカリキュラムマネジメントに対応する。学校間や校種間の円滑な接続ができるように、先の学園で学習する内容や小学校、高等学校で学習する内容との関連に配慮している。</p>		
使用上の配慮等	<p>①特別支援教育の観点から全ページにわたり、内容とデザインについて専門家による検証・校閲を行っている。紙面上の色や文字量の抑制、カラーユニバーサルデザイン、右利き、左利きでも見やすい工夫。</p> <p>②人権上の配慮</p>			<p>①主体的に学習に取り組む態度を養えるよう、生徒自身が学びやすい工夫。②読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォント③色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色の工夫</p>		
その他						